

1円玉はキャッシュレス時代に姿を消してしまう?!
「改元特別企画 アートの力で価値をあげる! いちえんアート」を
開催します。

東急百貨店 本店 4月25日(木)~5月8日(水)

株式会社 東急百貨店

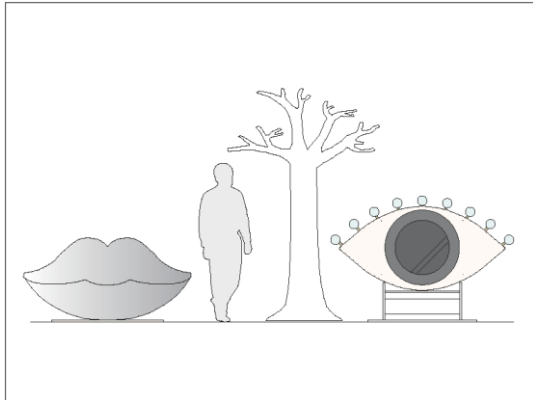
東急百貨店 本店では一円玉をモチーフにしたチャリティーアートイベントを行います。

日本を代表するアートディレクター・森本千絵さんが手掛ける参加型チャリティーアートオブジェと、平成を代表する数々の作品・カルチャーを生み出してきたアーティスト8組によるアート作品を展示・販売します。

「平成」から「令和」へと元号が変わりキャッシュレス時代を迎える今、一円玉の価値をアートを通じて問いかけるとともに、当企画で集まった一円玉を作品売り上げの一部とともに「桜ライン311」※に寄付します。

一円玉にデザインされた木は“いろんな木に通じる「若木」”とも言われているように、その「若木」が「桜」になって未来に花を咲かせます。

※「桜ライン311」とは東日本大震災からの復興を願い、桜を植樹するプロジェクトです。



オブジェのイメージ図



アートディレクター: 森本千絵さん

【企画概要】

イベント名 : 「改元特別企画 アートの力で価値をあげる! いちえんアート」

開催期間 : 2019年4月25日(木)~5月8日(水)

会場 : 東急百貨店 本店 4階特設スペース

営業時間 : 10時~19時

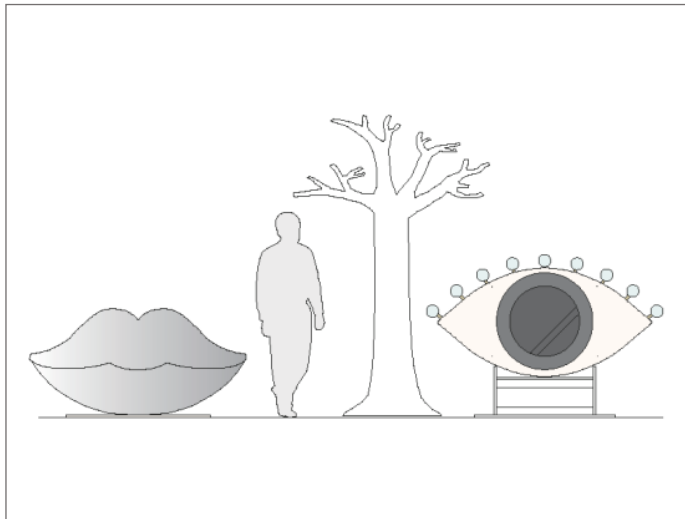
※詳しくは別紙参照ください

<本リリースに関するお問い合わせ先>

株式会社 東急百貨店 経営統括室 秘書広報部 電話:03-3477-3103

【別紙】

アートディレクター 森本千絵さんのオブジェ展示



オブジェのイメージ図

森本千絵さんが監修した平成をモチーフにしたアート作品を展示します。

- 唇・・・平成を代表する音を流します。
- 目・・・瞳に「コンドルズ※で振り返る平成」の映像を流します。
- 木・・・平成の出来事をコラージュします。

お客さまからお持ちの一円玉を募金として目や唇のオブジェに貼っていただき、アートを進化させていきます。アートに貼った一円玉は会期終了後「桜ライン 311」に寄付します。

※「コンドルズ」プロフィール

コンドルズとは、近藤良平を主宰とした、男性のみ学ラン姿でダンス、生演奏、人形劇、映像、コントを展開するダンスカンパニーです。



森本 千絵 プロフィール

株式会社 goen° 主宰。コミュニケーションディレクター・アートディレクター。

武蔵野美術大学客員教授。1999年武蔵野美術大学卒業後、博報堂入社。'06年史上最年少で ADC 会員となる。'07年「出逢いを発明する。夢をカタチにし、人をつなげていく。」をモットーに、株式会社 goen° を設立。NHK 大河ドラマ「江」、朝の連続テレビ小説「てっぺん」のタイトルワーク、「半分、青い。」のポスターデザインをはじめ、Canon、KIRIN などの企業広告、松任谷由実、Mr.Children のアートワーク、動物園や保育園の空間ディレクションなど活動は多岐に渡る。'11年サントリー「歌のリレー」で ADC グランプリ初受賞。N.Y.ADC 賞、ONE SHOW ゴールド、アジア太平洋広告祭ゴールド、SPACESHOWER MVA、50th ACC CM FESTIVAL ベストアートディレクション賞、ADFEST ヤングコンペ日本代表、伊丹十三賞、日本建築学会賞、第4回東奥文化選奨、日経ウーマンオブザイヤー2012など多数受賞。二子玉川ライズクリスマス2018「Merry Tick Tock」プロデュース、シブヤ・アロープロジェクトの壁画アート、南三陸志津川さんさん商店街ではサインなどデザインを担当。キネコ国際映画祭アーティスティック・ディレクター兼、審査委員長を務める。

アーティスト・クリエイターによる一円玉をモチーフとした作品展示

森本さんの声掛けでさまざまな分野で活躍するアーティスト・クリエイターが一円玉を題材としたアート作品を展示いたします。こちらのアーティストの作品は店頭とホームページ上で希望を募り抽選販売し、売り上げの一部を「桜ライン311」へ寄付します。

- 購入募集期間: 4月25日(木)～5月8日(水)
- 当選者には5月中旬ごろに事務局から直接連絡します(予定)。
- 参加アーティスト(五十音順・敬称略)



伊賀大介(スタイリスト)
1977年 西新宿生まれ。
96年より熊谷隆志氏に師事後、99年、22才でスタイリストとしての活動開始。
雑誌、広告、音楽家、映画、演劇、その他諸々「お呼びとあらば即参上」をモットーに労働。
下手の横好きながら、文筆業もこなす。



伊藤桂司 (イラストレーター)
1958年、東京生まれ。主に、広告、雑誌、音楽関係などの分野でグラフィック・ワーク、アートディレクション、映像を手掛ける。
作品集は『MOTORWAY』『FUTURE DAYS』(共に青心社)、『LA SUPER GRANDE』(ERECT LAB.)、『FROM MY NOTEBOOK』『ENDLESS SUMMER』(共にUFB)他多数。UFG 代表。



桑原茂一(選曲家・free paper dictionary 編集長)
1973年米国『ローリングストーン』日本版を創刊号から廃刊まで参加。
1980年『スネークマンショー』をプロデュースし YMO との共演。
1982年日本で初のクラブ『ピテカントロプス』を原宿にオープン。
1987年日本音楽選曲家協会発足。
1988年会社 clubking 設立。同時にフリーペーパー『dictionary』を創刊。
2015年株式会社桑原茂一事務所で個人的な活動を開始する。

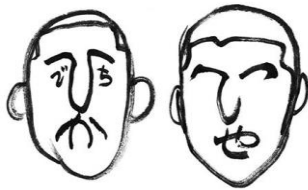


コンドルズ (ダンスカンパニー)
近藤良平を主宰とした、男性のみ学ラン姿でダンス、生演奏、人形劇、映像、コントを展開するダンス集団。
世界 20 ヶ国以上で公演。ニューヨークタイムズ紙絶賛。渋谷公会堂公演も即完超満員。収容人数 5 万人の味の素スタジアムで開催された東京スポーツ国体 2013 開会式式典演技の総演出を担当。
NHK 総合「サラリーマン NEO」内「テレビサラリーマン体操」、NHK 連続テレビ小説「てっぺん」オープニング 振演出演。NHK 紅白歌合戦出場。



師岡とおる(イラストレーター)

スタイルを限定しない表現方法で多彩なタッチを描きわける。2013年から関東駅構内の「痴漢撲滅キャンペーン」ポスター、音楽イベント「氣志團万博」煽り映像イラストがシリーズ化。2016年 NHK「ねほりんぱほりん」キャラクターデザイン、2019年 森永 DARS と niko and…のコラボパッケージなど。<http://www.more-rock.jp>



大日本タイポ組合(タイポグラフィティ集団)

秀親と塚田哲也の2人で1993年に結成。日本語やアルファベットなどの文字を解体し、組み合わせ、再構築することによって、新しい文字の概念を探る実験的タイポグラフィ集団。ロンドン、バルセロナ、東京での個展、および国内外での企画展に参加。2015年 ギンザ・グラフィック・ギャラリーにて「字字字」展を開催。2017年「なんでももじもじ」(福音館書店)を出版。2019年4月町田市民文学館にて「文ッ字」展を開催。



富沢ノボル(Hair&make-up / beauty director)

1992年 フリーランスのヘアメイクとして活動

1995年 渡米(NY) 1998 帰国。

東京をベースに、ファッション誌、広告、TV コマーシャル、コレクション、映画、舞台などのヘアメイクディレクション、メイクデザインなど国内外で活動。



中島信也(CM ディレクター)

東北新社取締役/CMディレクター。1959年福岡県生まれ大阪育ちの江戸っ子。武蔵美視デ卒。'83「ナショナル換気扇」で演出デビュー。デジタルを駆使した娯楽性の高いCMで受賞多数。日清食品カップヌードル「hungry?」('93カンヌグランプリ)、サントリー「燃烧系アミノ式」、「伊右衛門」、TOTO ネオレスト「菌の親子」などを演出。'10映画「矢島美容室」監督。文化放送「なかじましんや土曜の穴」パーソナリティー。

以上